

科目名		経営情報論Ⅱ (Management Information System Ⅱ)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第3学年	経営情報学科	履修	1単位	—	講義	後期 90分/週	30時間		
担当教員		【非常勤】野村 耕大 (【副担当】中岡 伊織)							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	現代の企業経営において情報技術の重要性は高まっている。本講義では、情報技術が企業の戦略策定や生産、人事などに対してどのような影響を及ぼしているのかを考察する。そこで前半では経営情報システムの諸概論を、後半でシステムの開発・管理を中心に紹介する。								
学習・教育目標	C②	JABEE基準1(2)		—					
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目	基礎経営学, 経営情報論Ⅰ, 経営管理論Ⅰ								
教科書	宮川 公男『経営情報システム』中央経済社, 2004年								
補助教材等	プリント(講義資料および演習課題)								
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	演習課題	合計
	総合評価割合	40	50					10	100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎						◎	
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】	○	○							
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【自己管理能力】								○	
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
<p>経営情報論ⅠおよびⅡでは授業科目名にも含まれている通り経営、情報および企業経営における情報の使い方について幅広く取り扱う。上級生になるとより専門性が高くなるので、この科目で経営・情報の基礎知識を身につけてもらいたい。</p> <p>演習課題の提出状況も成績評価に含めるので、遅れずに提出すること。</p>									

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス 経営情報システム(MIS)1	・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。 ・MISの歴史について理解できる	予習:教科書 復習:講義資料
2	経営情報システム(MIS)2	・MISの全体像や構造、基本機能について理解できる ・MISの失敗理由について理解できる	予習:教科書 復習:講義資料
3	意思決定支援システム(DSS)1	・DSSの特徴について理解できる ・DSSの支援過程について理解できる	予習:教科書 復習:講義資料
4	意思決定支援システム(DSS)2	・DSS出現の背景や求められる機能について理解できる ・DSS開発および利用について理解できる	予習:教科書 復習:講義資料
5	戦略的情報システム(SIS)	・競争優位を得るための戦略について理解できる ・SISの例について理解できる	予習:教科書 復習:講義資料
6	エンドユーザコンピューティング (EUC)1	・EUC出現の背景について理解できる ・EUC対象領域について理解できる	予習:教科書 復習:講義資料
7	エンドユーザコンピューティング (EUC)2	・EUC採用時における情報処理部門の役割について理解できる	予習:教科書 復習:講義資料
8	中間試験		
9	試験返却・解答解説 オフィス情報システム(OIS)1	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。 ・グループウェアについて理解できる。	予習:教科書 復習:講義資料
10	オフィス情報システム(OIS)2	・オフィス・オートメーションについて理解できる。	予習:教科書 復習:講義資料
11	情報システムの計画・設計1	・情報システムの設計の各段階について理解できる	予習:教科書 復習:講義資料
12	情報システムの計画・設計2	・ウォーターフォールモデルなど情報システムの設計方法について理解できる	予習:教科書 復習:講義資料
13	情報システムの運営管理	・情報システムを運営・管理するための組織および組織構造について理解できる	予習:教科書 復習:講義資料
14	電子商取引	・電子商取引の歴史について理解できる ・電子商取引の種類・概要およびその市場規模について理解できる	予習:教科書 復習:講義資料
	期末試験		
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	
総授業時間数			30時間